



## D.I. 質問箱



麻疹担当の中村  
がお答えいたし  
ます。

Q39

麻疹の抗体確認検査には「IgG (EIA法)」「HI 法」の他に何がありますか。

A39

「ご質問ありがとうございます。」

抗体確認検査には上記の他に、NT 法、CF 法、PA 法があります。感度はどれも IgG (EIA 法) と同等ですが、NT 法は週1回(月曜日)しか検査していません。CF 法は 3 ヶ月程度で抗体価が消失するため、抗体確認には不向きです。PA 法は、今年の麻疹の流行をうけ、受託を開始した検査項目です。

右表は某学校を対象とした PA 法の集団検査結果です。検査総数 729 人に対し免疫が十分に獲得できていないと思われる抗体価 64 倍以下の学生数は 160 人であり、全体の 21.9% に免疫低下がうかがえます。このうち 6 人が麻疹に罹患していたことが後の追跡調査で判明しました(内訳…3 人抗体価 16 倍未満、1 人抗体価 32 倍、1 人 IgG 検査陰性、1 人抗体価不明)。

麻疹抗体検査(PA 法)

検査結果	人数	割合
16 倍未満	31 人	4.2%
16 倍	9 人	1.2%
32 倍	24 人	3.2%
64 倍	96 人	13.1%
128 倍	154 人	21.1%
256 倍	191 人	26.2%
512 倍以上	224 人	31.0%
検査総数: 729 人		
抗体価 64 倍以下: 160 人 (21.9%)		

【PA 法】について  
国立感染症研究所より出されています『医療機関での麻疹対応について』では、「麻疹抗体価測定は EIA 法または PA 法または中和法(NT 法)を用い」とされ、「PA 法は感度が高いため、陽性であっても 16~64 倍の低い抗体価であれば、ワクチン接種を勧奨する」と記載されています。

お問合せ：学術データインフォメーション (D.I.) まで  
0120-14-8734 (フリーダイヤル) / 082-247-4325 (ダイヤルイン)

## きやうぽーる

うちの子供にも『就学時前に麻疹のワクチンを打ってください』と保健所から通知がきました。いざ病院にワクチンが打てるか問い合わせてみると、今ワクチンが不足しているために秋ごろまで予約待ちだ、と言われました。本当にマスコミ等で報道されているとおரிだったのですね。

麻疹は根絶したという国もあるのに…。これを機に、ワクチン接種の重大さが浸透し、日本からも麻疹が消える日がくるのでしょうか…! ?

渡川 美弥子 (広報委員)

広報委員

松本 道雄 / 藤本 誠 / 伊丸 直樹 / 中村 賢作 / 渡川 美弥子 / 初岡 博

